

静岡市監査委員会議記録

会 議 令和6年度 第2回 監査委員定例協議会

開催日時 令和6年6月3日（月） 午前9時10分～午前10時55分

出席者 監査委員 遠藤 正方、白鳥三和子、寺澤 潤、稲葉 寛之

事務局長 萩原 健

書 記 柴 秀和

山田 和誠、山田 裕 渡辺 篤史、蝦名 倫代

宇佐美亜希、神山 悟、谷 梓

青野 洋平、山本 和延、齋藤 升美

会議内容

1 開会宣言 柴次長

2 例月現金出納検査

(1) 各種会計現金在高検査

柴次長から各種会計のつり銭資金の現金在高及び保管状況に係る検査の結果について、適正に処理されていたことを事務局職員が確認した旨の報告があった。

ア 発言等

(白鳥委員)

つり銭資金を持っている所属数と全体の金額を教えてください。

(事務局)

つり銭資金は55所属に合計2,656,000円を交付している。定期監査の対象となる可能性がある所属については、今回の検査からは除き、対象を21所属1,310,000円に絞っている。そのうちの4件を検査した。

(2) 棚卸資産実地検査に係る質問への回答

青野係長から第1回監査委員定例協議会で監査委員から質問があった病院事業会計及び水道事業会計の棚卸資産実地検査の対象件数について説明があった。

(白鳥委員)

抽出をもって全体の推定をするためには、棚卸の手順がしっかりしているということが前提となる。引き続き次年度以降も、手順がしっかりしているかといったことを確認しながら検査を実施していくようお願いしたい。

(3) 例月現金出納検査（4月分）

ア 説明者等

(ア) 農業集落排水事業会計 農地整備課長、上下水道経理課長

- (イ) 各種会計 宇佐美係長 (監査第2係)
- (ウ) 病院事業会計 山田次長補佐 (監査第1係)
- (エ) 簡易水道事業会計 山田次長補佐 (監査第1係)
- (オ) 水道事業会計 青野係長 (監査第3係)
- (カ) 下水道事業会計 宇佐美係長 (監査第2係)

イ 発言等

(ア) 農業集落排水事業会計

(稲葉委員)

公営企業会計に移行することで、使用料など利用者には何か影響はあるか。

(農地整備課)

使用料に変更はない。主に会計方式の変更であるため利用者に影響はない。

(白鳥委員)

1 ページ試算表の未払金勘定について、特別会計から公営企業会計に移行するに当たって3,700万円程度引き継いでいるようだが、その内容は何か。

(農地整備課)

主な内容は、4月、5月に支払う委託料約3,400万円である。

(遠藤代表)

今の回答に関して確認だが、特別会計であれば、出納整理期間に支払われるものだったが、公営企業会計移行に伴い打切決算を行ったことにより未払金として引き継がれたものということによいか。

(農地整備課)

そのとおりである。

(遠藤代表)

公営企業法の一部適用なので、公営企業管理者の役割は、長が担うということによいか。

(農地整備課)

そのとおりである。

(遠藤代表)

これまでは特別会計であり会計管理者がいたが、これからは企業会計ということで長が管理者の役割を全て行うことになるので、間違いのないように気を付けていただきたい。

(農地整備課)

移行に当たり引継ぎの手続を行った。

(寺澤委員)

集落の人口減少が進んでいると思うが、今後の事業の見通しはどのように考えているか。

(農地整備課)

人口減少は、将来的にはさらに加速することが見込まれる。処理区ごとの人口推移を予測して、今後経営戦略改定の検討を行っていきたいと考えている。

(遠藤代表)

施設ごとに収支状況を出して管理していくのか。

(農地整備課)

そのとおりである。

(イ) 各種会計

(白鳥委員)

今回抽出した収入の寄附金の財政管理費寄附金とは、ふるさと納税か。

(事務局)

そのとおりである。

(ウ) 病院事業会計

(白鳥委員)

試算表の医業未収金の借方計上額が約 13 億円となっており、金額が多くなっているが、他会計負担金が含まれているのか。

(事務局)

そのとおりである。他会計負担金が医業未収金に約 6 億 2,200 万円、医業外未収金に約 11 億 4,000 万円含まれている。

(白鳥委員)

預金の約 20 億円のうち約 9 億円を大口定期預金にしているが、資金予算表では 6 月の収支差額が約 2 億円赤字になる予定となっているので、資金が大丈夫なのか確認しながら進めていただきたい。

(遠藤代表)

確認だが、他会計負担金が同一の名称で勘定科目が分かれているのは、一般会計が負担すべきものと赤字補填的なものに分かれているということか。

(事務局)

分類については、約 6 億 2,200 万円の方が病院本来の事業活動に伴うものであり、約 11 億 4,000 万の方は直接の医業分ではない、例えば、研究研修費、院内保育、児童手当、医師確保対策といったものとなっている。

(エ) 簡易水道事業会計

冒頭に山田次長補佐から第 1 回監査委員定例協議会で監査委員から質問があった一般会計からの赤字補填的な繰入れを除いた収支について説明があった。

(白鳥委員)

決算見込について、赤字補填前の数字は令和 4 年度のものとして確認したいので、また資料を用意してほしい。

(オ) 水道事業会計

(寺澤委員)

過年度営業未収金の貸方が 15 億円以上あるが、一般的にこのくらいあるものなのか。

(事務局)

主に、検針をした月と支払月が年度をまたぐことによるものであり、過年度営業未収金の貸方の当月額は、4 月に収入した額である。

(白鳥委員)

今回、調定金額に誤りがあり、監査委員事務局が気付いたということだったが、水道

事業会計自ら気が付く可能性はあったのか。

(事務局)

今回の誤りは、上下水道局庁舎のいわゆる賃貸料に係るもので、事務局で検算をした結果、経営管理部に属する面積と上下水道局各部での共用部分の面積の数字に入れ違いがあり、それによって本来調定すべき金額に誤りがあったことが発覚したものである。

(白鳥委員)

水道事業会計は既にチェックしているから、そのまま気が付かなかった可能性があったということか。

(事務局)

そのとおりである。

(カ) 下水道事業会計

特になし

3 協議会議事

(1) 協議事項

ア 協第7号 包括外部監査人の監査の事務補助者に関する協議について

(ア) 説明者

山田係長

(イ) 要旨

議案集により説明

(ウ) 発言等

特になし

(エ) 結果

遠藤代表監査委員から承認の可否について諮ったところ、全員一致で承認された。

(2) 報告事項

ア 報第2号 内部統制の不備に関する報告（令和6年4月分）について

(ア) 説明者

青野係長

(イ) 要旨

報告事項により説明

(ウ) 発言等

特になし

イ 報第3号 指導事項に対する対応状況（行政監査（テーマ監査））について

(ア) 説明者

山田次長補佐

(イ) 要旨

報告事項により説明

(ウ) 発言等

特になし

(3) その他連絡事項

ア 令和5年度公営企業会計決算審査の本審査について・・・・・・青野係長が説明

- イ 令和5年度内部統制評価報告書審査の本審査について・・・・・・・・青野係長が説明
- ウ 令和6年度第1回定例協議会議事録の公表について・・・・・・・・山田次長補佐が説明
- エ 6月・7月の日程について・・・・・・・・柴次長が説明

4 閉会宣言 柴次長